

平成29年7月7日
西部農林振興センター県央事務所農業普及部大田支所

標 題	目指せ1億円産地！大田市長へシャインマスカットを贈呈！ ～産地ビジョンの実現をめざして！～
------------	--

(ダイジェスト)

今年、島根県産シャインマスカットのプレミアムブランドである「縁の恵」が、初出荷となりました。そこで、去る7月3日、大田市ぶどう生産組合若手5名が市長へ「縁の恵」の贈呈と組合活動の報告を行いました。最後には、市長の掛け声に合わせて、皆で「1億円産地達成に向けて頑張ろう」と大きな声で、今後の飛躍を誓い合いました。

大田市ぶどう生産組合では、約8年前から大粒で皮ごと食べられる人気品種であるシャインマスカットの栽培を行っています。もともとデラウェア栽培が中心であったため、大粒品種の栽培には様々な苦労がありました。組合員の努力により年々品質が向上しています。そして、今年大田市ぶどう生産組合として初めて、島根県産シャインマスカットのプレミアムブランドである「縁の恵」が収穫されました。

そこで、去る7月3日、大田市ぶどう生産組合若手5名が市長へ「縁の恵」の出荷報告と贈呈を行いました。市長からは「房型も非常にきれいで大粒！生産者の努力の結晶だ」など、その品質に太鼓判を押されました。また、産地ビジョンをきっかけに食農教育や、産地PRの取り組みなど組合活動を精力的に進めていることを報告しました。さらに、一億円産地達成に向け、リースハウス事業導入などによる産地規模拡大を検討していることなど、将来への抱負を述べました。

最後に市長からの提案で、恒例となりつつある「一億円産地達成に向けて頑張ろう」コールを行い、産地ビジョン達成に向け一致団結を誓いました。大田支所としては、こうした産地ビジョンの実現に向けた支援を続けていきます。



「縁の恵」を贈呈する組合長



産地ビジョン実現に向けた一致団結